

守れ9条!

こんにちは! 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年1月11日

〒319-1112

東海村村松 2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

2007年初春

1人ひとりが大切にされる政治へごいっしょに切り開きましょう

元旦に、永井議員とごいっしょに新年にあたっての決意など、街頭から訴えさせて頂きました。

日本共産党の大名美恵子です。新年にあたっての訴えをさせて頂きます。本年も住民のみなさまの切実な声を村政に届け、暮らし応援のあたたかい村政をめざし、一層力をつくす決意です。どうぞ宜しくお願い致します。

さて昨年は、小泉内閣に変わり安倍内閣が発足致しました。安倍首相は、任期中に憲法を変えると公言しましたが、私たちの暮らしを脅かす大変危険な政権と言えるのではないのでしょうか。まず早速の仕事として教育基本法の改悪を、自民・公明の与党だけでごり押し強行した、その政治姿勢でも明らかです。今、全国的に子どもたちが苦しんでいる「いじめ問題」や、タウンミーティングでの「やらせ質問」などの問題に対し、きちっと反省もせず、対応を明確にしないままの強行だったことは、許し難い暴挙と言えます。そして今年も、憲法改悪への道へ突き進もうとするのではないのでしょうか。

しかしみなさん、このような国政のあり方に対し、私たちが草の根で手を結び力をあわせて、やめさせるために取り組んでいくなれば、必ず住民生活との大きな矛盾が明らかになるでしょう。ごいっしょに、子どもたちと私たちの暮らし、そして平和を守るために力あわせましょう。

みなさん、私が今年力を入れたいと考えていることの1つは、国の、高齢者を中心としたすべての庶民を対象に、様々な負担増を押しつける、その一方で大企業には減税という政治から村民生活守るとりくみです。水道料金の引き上げ、ゴミの有料化、税金の引き上げ、医療制度改悪による負担増など村民の負担は増える一方です。村民の暮らしの実態を明らかにし改善を求めて参ります。

2つは、本村ならではの問題として、原子力施設の老朽化対策に力を入れる問題です。住民の安全と安心できる生活の確保が何より大事です。この視点を最優先に老朽化への対応としてどうあるべきか、厳しく求めて参ります。

3つは、こここのところ増えてきている産廃処理業者の本村への施設設置計画に対すとりくみです。どんなに合法的でも、住民生活に与える影響として害悪発生が懸念されることは将来にわたって消えることはありません。何よりも住民のみなさまのご意見を大切に、この問題でもごいっしょにとりくんで参ります。以上述べまして、私の新年にあたりましての決意といたします。ご協力いただき、ありがとうございました。



紙 智子

参議院議員



田谷武夫

党茨城県委員長

紙智子さんと田谷武夫さんをご紹介します

2007 年は参議院選挙の年。一人ひとりが大切にされる暖かい政治に

「いくら働いても楽にならない」、「弱いものいじめだ」...みなさんの声を国政に届けがんばってきました。日本共産党は国民一人ひとりの幸せと平和をねがい、格差と貧困をひろげる自民党政治をおおもとからたす、たしかな野党です。この党を大きくし、どうぞ私を再び国政の場ではたらかせて下さい。参議院議員 紙智子

大名美恵子の “ひとりごと”

* 今回も年末年始は、本当に忙しかった。新年になってからも終わらない大掃除を考えると「お正月なんて来ないほうがいいのに...」と不謹慎なことを思ってしまう。

そんななかでも嬉しかったことは、学生時代からの友人が15年ぶりくらいに、ギター片手に我が家を訪れてくれたこと。他の友人も集まったので深夜にもかかわらず、夫のアコーディオンとともになつかしい歌ごえがひびいた。「来年も集まれるといいね」。みんなの実感だった。

* もうひとつは、必死で2本の映画を観たこと。「映画を観たい」と訴える私に、「じゃあ、行こう」と決まったが、最終的に意見がまとまったのが「武士の一分」と「フラガール」になった。「武士の一分」は夫と二人の愛息とともに、「フラガール」は夫と観た。何と、二人の愛娘の方は、忙しい中、時間を見つけ観ているらしく、同行しなかった。

2本とも涙が流れるストーリーと演技力だったが、問題は目的の“心がふわふわ”としたかどうか。なぜか「うーん、今年もがんばらねば...」。そうだ!! 私の心は、ふわふわとまでいなくても、住民のみなさん一人ひとりとの対話を続けよう。これが一番。